

暑假(夏休み)

中西 陽介

7月から9月の新学期が始まるまで、学校は**暑假(夏休み)**です。長期休暇に入ると、校内に数多くある食堂やスーパーマーケット、商店などもほとんどお休みになります。7月下旬の時点で、飲食店一軒、スーパー一軒だけが、ひっそりと営業していました。

夏になり、気温もかなり上がってきて、非常に暑くなりました。山西大学にある寮の部屋にはエアコンがあるのですが、私が過ごしている山西大学商学院の寮にはエアコンが設置されていません。室内は蒸し暑くて勉強どころではなくなってしまいます。そのため、慌てて扇風機を購入する学生もたくさんいました。



セントラルヒーティングのみ

この期間、中国の学生は皆、実家に帰ります。校内に留まる留学生にとって、夏休み中の生活は、とても不便なものになってしまいます。留学生の中には一度帰国する者や、旅行に行く者も多くいます。

最近では、アフリカ各国からの留学生が増えてきました。やはりアフリカは遠く、航空券も高いためか、彼らのほとんどは帰国せず、寮にずっと滞在しています。

中国の周辺諸国からだけでなく、遠くアフリカからも留学生がたくさんやって来るということは、中国の影響力がいかに世界的に広がっているか、ということの意味していると思います。中国企業が、アフリカや中東諸国にどんどん進出しているのはニュースで知っていましたが、これほど多くのアフリカの若者たちが、留学して中国語を勉強したいと思う程の状況になっているのは驚きです。

アフリカ人はもちろん、やはり留学生にとって中国での生活で大変なことは、まず食事があげられると思います。日本人にとっては、中華料理はあまり抵抗ありませんが、食文化や食生活が全く違う国からやって来た学生は、中華料理に慣れるのが大変なようです。また、ムスリムの学生も多いのですが、中華は肉をよく使うので、彼らは宗教的な理由で食べられず、よく自炊しています。

日本人の中には辛いものが苦手という人もいますが、私は辛いものが大好きなので、本場四川の麻婆豆腐にもチャレンジしました。とても美味しかったのですが、翌日は辛さにお腹が耐えられず、何度もトイレに駆け込むことになってしまいました。



ロバ肉サンド



四川麻婆豆腐